

題材名 『 かわいい?? キャラクターフィギュア制作 』

学校名 高知県立清水高等学校

教員名 竹村 真

<<学校紹介>>

本校は、足摺岬のある高知県の西南端に位置し、土佐清水市唯一の高校である。かつては、漁業の盛んな街で漁業科も併設され賑わいをみせたが、今は少子高齢化に歯止めがかかっていない。自然豊かな緑と海に育った子供たちは、釣りを趣味とする生徒も多く、小中学校も一緒なので仲間意識が強い。美術館などの芸術文化施設が地元になく本物の作品に触れる機会がほとんどないのが現状である。

<<対象学年>> 3年 課題研究（50時間） 人数 8名

<<題材設定の理由>>

ガチャポンなど、最近は多くのフィギュアを目にする機会があり、生徒にとっても身近な存在である。それらは、小さいにもかかわらず精巧に作られており驚きを感じる。受講生徒は、美術皿もあるので、課題研究では、一つの課題をじっくり研究し制作する力をつけることを目的とした。単なる人物像でなく、キャラクターを設定し遊び心を取り入れたフィギュアということで生徒のモチベーションを高めていきたい。



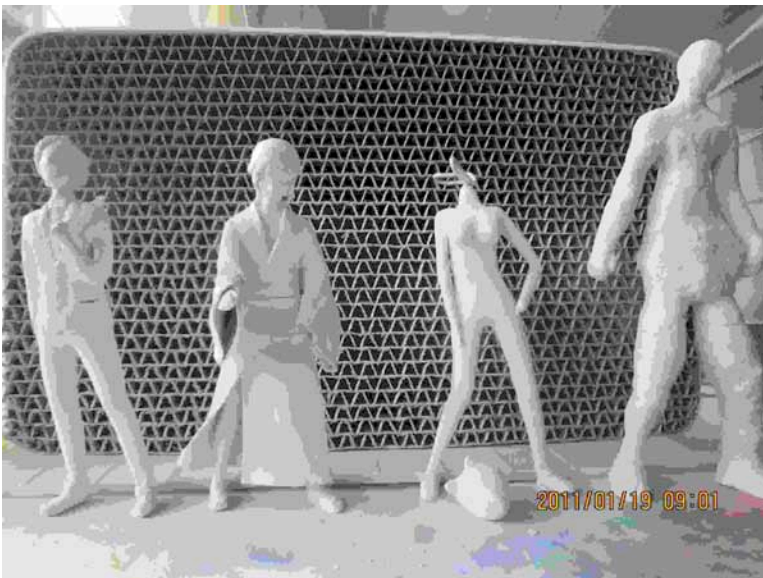
<<準備するもの>> 石粉粘土、針金、接着剤、サーフェイサー、紙やすり
アクリル絵の具、カッター、へら、ペンチなど

<<手順>>

- ① 人物のキャラクターを設定する。人物の正面図に合わせて、針金で芯をつくる。
- ② 針金の芯に石粉粘土を巻く。関節部分には粘土はつけない。
- ③ ポーズをつける。実際に自分でポーズを取ってみて、重心のかかり具合などを写真で確認する。
- ④ 骨格や、筋肉など人体の構造を確かめながら肉付け作業を行う。
- ⑤ 削ったり、盛ったり、紙やすりで磨いたりの地道な作業
- ⑥ 服を貼り付ける。ポーズによりできる特徴的なしわの入り方など研究する。
- ⑦ ペーパーで磨き、サーフェイサーを吹き、アクリル絵の具で着色する。
- ⑧ 台座に取り付ける。 校内に展示する。



※ ポーズにより、像の持つ雰囲気が大きく変わってくる。
実際にポーズをとって、作ってみたい像になりきってみる。



・白のサフェーサーを吹く



・アクリル絵の具で陰影をつけて着彩

《まとめ》

「カッコいい」とか「面白い」と感じる醍醐味は、各人で異なるが、遊び心をいれてキャラクター（個性）を強調した人物像を作るということでは、生徒のノリも良かった。しかし最初にイメージがしっかりしていないと、形になっていかない。作っては壊れの繰り返しで、なかなか形にならない作品もあった。早い段階で出来上がりのイメージを持たせることが大切である。

長いスパンで制作し、試行錯誤しながらノウハウを共有し、問題を一つ一つクリアしていく喜びは、モノづくりの楽しみである。また、立体を作る手ごたえも味わうことができる課題である。